

英語科 学習指導案

日	時：平成24年 2月17日 (金) 第6校時 (14時10分～15時)
学	年：中学部 3年 (13名)
授業場所	：中3教室

1. 単元 (題材) 名

卒業記念の寄せ書き

2. 単元 (題材) の目標

- (1) 卒業にあたってのメッセージを、既習英語を使って考え、寄せ書きにしてクラスメイトに伝える。
- (2) そのメッセージを送った理由を英語で伝える。
- (3) ICT を使ってクラスメイトにメッセージを送る。

3. 単元 (題材) の指導計画

指導計画 (全6時間)

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1時	①タイトルを決める。 ②コラボノートの使い方を学ぶ。 ③個人のシートを選ぶ。 ④タイトルをシートに書く。	・TPC (タブレットPC) ・IWB (電子黒板)
第2時	①例文を参考にして、クラスメイト1人1人へのメッセージを考える。	
第3時	②なぜそのメッセージを送ろうと思ったか理由を考える。 ③その理由について英語で質問を受けたときに、答えられるように準備する。 (with ALT)	
第4時	①前回までに考えたメッセージをコラボノートを使い、それぞれのシートに書き込んでいく。	・TPC (コラボノート) ・IWB
第5時 本時	①メッセージの書き込みを完成させる。 ②メッセージと理由を発表する。(1人1分) ③なぜそのメッセージを送ったのかの質問に答える。(本時5/6)	・TPC (コラボノート) ・IWB
第6時	①色紙に載せる資材を作る。〔写真, イラスト (手書きまたはインターネットフリー素材ダウンロード), 名前など〕 ②色紙に素材をレイアウトして載せ寄せ書きを完成し印刷する。	・TPC (コラボノート) ・IWB ・デジタルカメラ

4. 本時の目標

- (1) クラスメイトに、卒業にあたって今までの思いを英語で意欲的に伝える。
- (2) そのメッセージの理由を英語で伝え、質問にも答える。
- (3) ICT を使って相手に効果的にメッセージを伝える。

5. 本時の情報通信技術 (ICT) 活用

活用する場面	・導入 ・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	・生徒 [・制作 ・作品の提示] ・指導者 [・説明 ・作業経過の提示]
活用するコンテンツ	
活用する機器	・IWB ・TPC (コラボノート)

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入 (5 分)	<p>一斉学習</p> <p>前回行ったそれぞれのシートにメッセージを書く作業の続きを行い、終わったら、なぜそのメッセージを送ったのかを発表することを伝える。</p>	IWB(指導者)	<ul style="list-style-type: none"> 例を示しながら本時の作業内容やコラボノートの使い方をもう一度を分かりやすく説明する。 <p>【IWBで本時の作業の流れを示す】</p>
展 開 (4 0 分)	<p>個別学習 協働学習</p> <p>前回の続き(それぞれのシートにメッセージを書き込む作業)をする。</p> <p>個別学習</p> <p>完成した寄せ書きを見てクラスメイトからのメッセージを読む。</p> <p>一斉学習</p> <p>1人1つのメッセージを発表し、またそれを送った理由を、指導者の質問に答えることで発表する。その間、他の生徒は発表の評価をする。</p> <p>ex)T: Please come here, messenger to Ms. ○○. S: I'll tell a message (messages) to Ms. ○○. "I liked your joke very much." T: Why did you send this message to ○○? S: Because he always made us happy.</p> <p>発表にコメントする。 次回の作業を予告する。</p>	<p>TPC, コラボノート(生徒) IWB(指導者)</p> <p>TPC</p> <p>TPC (生徒) IWB(指導者)</p>	<p>【生徒の作業状況をIWBに映し出す】</p> <p>【コラボノートを使って、個人のシートにそれぞれにあてたメッセージを書き込む。タッチペンで書いてもキーボードで打ち込んでもどちらでもかまわない】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容が分からない時は自分で調べたり、指導者に尋ねる。 <ul style="list-style-type: none"> 1人ずつ前に出し、メッセージを1つ発表ししていく。 <p>【IWBにそれぞれのシートを提示する】</p>
ま と め (5 分)			<ul style="list-style-type: none"> ALT, JET共にコメントする。 色紙に載せる写真や絵を作り、レイアウトして載せて、寄せ書きを完成させることを伝える。

7. 本時の評価 (評価の観点・観点別の評価を含む)

- (1) クラスメイトに、卒業にあたって今までの思いを意欲的に英語で伝えることができる。
- (2) そのメッセージの理由を英語で伝え、質問にも答えることができる。
- (3) ICTを使って相手に効果的にメッセージを伝えることができる。

8. 準備物

TPC, IWB